慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫二〇二〇年 (令和二年) 度彙報
Sub Title	Report of 2020
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2022
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.56 (2021.) ,p.561- 573
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20210000-0561

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学附属研究所

斯道文庫　二〇二〇年（令和二年）度彙報

Ⅰ　人　事

○文庫長・主事

二〇二〇年九月末日を以て佐々木孝浩君が文庫長の任期を、一戸渉君が主事の任期をそれぞれ満了、十月一日付を以て共に重任した。両君の任期は二〇二二年九月末日まで。

○研究嘱託

二〇二〇年四月一日付を以て、文学研究科後期博士課程の斎藤慎一郎君の任期を更新した。任期は二〇二二年三月末日まで。

○訪問研究員

上海大学副教授（准教授）鄭幸君が、訪問准教授として二〇二〇年九月十四日まで滞在、清版の調査研究に従事した。訪問期間は二〇一九年九月十五日より一年間であった。またワシントン大学教授ポール・S・アトキンス君が十月二十六日から十一月二十日まで訪問教授として滞在、絶海中津に関する研究に従事した。

○職員

二〇二〇年四月一日付を以て桑田恵里君が事務嘱託に就任した。二〇一八年十二月三日より休職していた事務員飯島典子君が六月一日付を持って復職、七月一日付けで福澤研究センター事務員に異動となった。

Ⅱ　斯道文庫委員会

第一回・二〇二〇年六月二十四日（水）

〈報告事項〉

1　二〇二〇年度予算について

2　二〇一九年度の研究成果について

〈審議事項〉

1　文庫長の改選について

佐々木孝浩君を文庫長に重任する件。

2　二〇二〇年度の研究事業計画について

3　来年度訪問研究員の受入れについて

成城大学から訪問学者として文芸学部准教授山田尚子君を受入れる件。

以上承認。

第二回・二〇二〇年九月三日（木）

〈審議事項〉

1　教員の昇任人事について

矢島明希子君を専任講師へ昇任する人事の審査手続きを開始する件。

以上承認。

第三回・二〇二〇年十一月十二十六日（木）

〈報告事項〉

1　センチュリー文化財団寄託品展覧会について

2　斯道文庫講演会について

3　広報用ＳＮＳの活用について

広報用にTwitterにアカウントを開設した件。

4　国文学研究資料館との歴史的典籍ＮＷ事業に関する覚書締結について

5　閲覧の再開について

〈審議事項〉

1　二〇二一年度予算について（含センチュリー基金）

2　二〇二一年度斯道文庫設置講座・同書誌学講座の担当について

3　文庫教員の昇任について

矢島明希子君を専任講師へ昇任する件。

以上承認。

第四回・二〇二一年三月二日（火）

〈報告事項〉

1　二〇二一年度予算について

2　斯道文庫講演会について

3　「斯道文庫論集」第五十五輯の上梓について

4　センチュリー赤尾コレクションの寄贈とKeMCoオープニング展示について

〈審議事項〉

1　研究嘱託の任用について

経済学部教授の津田眞弓君、文学部教授の小川剛生君、文学部准教授の合山林太郎君、文学研究科後期博士課程川上一君の任期を更新し、文学部准教授の恋田知子君を新たに研究嘱託に委嘱する件。

2　二〇二一年度塾内授業担当について

3　二〇二一年度文庫員の塾外出講について

4　二〇二一年度センチュリー文化財団赤尾基金による研究補助について

基金運営委員会の提案に基づき、野村航平君（大学院後期博士課程）と川崎美穏君（大学院後期博士課程）に各三十万円の補助を行う件。

以上承認。

第五回・二〇二一年三月十日（水）

〈審議事項〉

一　現行「センチュリー文化財団赤尾記念基金規程」の改訂

現行規程を親規程として、斯道文庫において取り扱ってきた従来の基金を子規程とする目的で規程を改訂する件。

二　「斯道文庫基金規程」の新規制定

前議題に伴い新たに斯道文庫において取り扱う基金の規程を新たに制定する件。

三　現行「センチュリー文化財団赤尾記念基金規程細則」の廃止

本規程の改訂に伴い、付随する細則について、これまでの実績、ならびに基金募集要項等に基づいて運営されていることに鑑みて廃止する件。

以上承認。

Ⅲ　研究調査

斯道文庫は、日本および東洋の古典籍について、原本調査に基づく書誌学的研究を行い、その成果を広く公表することを目的とする。本年度の研究事業計画は以下の通りである。

一　国書の部

Ⅰ　中世以前成立の韻文の研究　＊各々注釈書を含む

1　勅撰和歌集諸本の研究　佐々木孝浩
2　和歌四天王著作の研究　小川剛生
3　中世歌合諸本の研究　佐々木・川上一
4　中世後期千首和歌諸本の研究　川上
5　室町期歌会資料の研究　川上

Ⅱ　中世以前成立の散文の研究

1　源氏物語諸本の研究　佐々木
2　中世仮名法語の研究　高橋悠介
3　中世聖徳太子伝の研究　高橋
4　中世唱導資料の調査研究　高橋
5　能楽関係資料の調査研究　高橋
6　歴史物語諸本の研究　小川

Ⅲ　近世成立の韻文散文の研究

1　近世歌文集の調査研究　一戸渉
2　近世後期小説の研究　津田眞弓

Ⅳ　学者・学問史の研究

1　中世真言密教の聖教の調査研究　高橋
2　近世和学・国学資料の調査研究　一戸

二　日本漢学書の部

（国書のうち漢文体著作および漢籍注釈・改編書等）

Ⅰ　博士家関係書の調査研究

1　中古・中世漢詩文集の調査研究　堀川貴司

2　経書受容の研究　斎藤慎一郎

Ⅱ　禅林関係書の調査研究

1　漢籍・禅籍注釈書および類書類の調査研究　堀川・住吉朋彦

2　漢詩文集・語録類の調査研究　堀川・住吉

Ⅲ　近世漢学者の著作研究

1　近世漢詩文集の書誌調査　堀川

2　林羅山著作類の調査研究　堀川

3　松崎慊堂自筆稿本並びに書入本の調査　堀川

4　近世・近代漢学者の筆跡類の研究　堀川

5　近世・近代日本における漢籍受容の研究　合山林太郎

三　漢籍の部

Ⅰ　漢籍総目録編纂のための書誌調査並びに研究　全員

重点項目

経部　春秋類　斎藤

小学類　住吉

子部　農家・医家類　矢島明希子

類書類　住吉

集部　総集・詩文評類　住吉・矢島

目録稿の電子化と公開　住吉・矢島

Ⅱ　漢籍書誌学の研究

1　旧鈔本　全員

論語注釈書の研究　斎藤

百二十詠本文の研究

2　宋元版・明清版　矢島

日本所在宋元版の伝来研究　住吉

祝穆編書の版本調査　住吉

漁隠叢話の校勘　矢島

毛詩草木鳥獣虫魚疏の版本研究　住吉

近世初伝来本の調査研究　住吉

李公凱注書の版本調査

3　朝鮮版・越南版　住吉

朝鮮乙亥字刊本の調査研究

4　五山版・古活字版　住吉

杏雨書屋・天理図書館蔵五山版の調査研究

慶應義塾所蔵五山版の調査研究　堀川

国立歴史民俗博物館蔵古活字版の調査研究　住吉

5　和刻本　堀川

禅籍和刻本の調査研究

四　蔵書調査・目録の作成

Ⅰ　斯道文庫蔵特殊文庫善本類他

1　坦堂文庫目録の作成　堀川・住吉・矢島・斎藤

2　亀井家学文庫未整理本並びに新収本の整理と調査　堀川

3　センチュリー文化財団寄託資料目録の作成　全員

4　今関文庫目録の作成　堀川・住吉・矢島・合山・斎藤

5　横山・松本文庫目録の作成　堀川

6　斯道文庫所蔵古典籍資料の目録データベース作成　全員

Ⅱ　旧藩校等の蔵書調査・目録作成

1　興譲館高等学校蔵書　堀川

2　鶴岡藩致道館文庫蔵書　堀川

Ⅲ　諸文庫の蔵書調査

1　建仁寺両足院蔵書調査　堀川・住吉・高橋・矢島

2　陽明文庫蔵漢籍準漢籍の調査　堀川・住吉・高橋・矢島・斎藤

3　佐川町立青山文庫蔵書調査　堀川・住吉・一戸・高橋・矢島

4　慶應義塾大学蔵近世後期出版物の調査　津田

5　慶應義塾図書館蔵橋本経亮旧蔵「香果遺珍」の調査　一戸

6　尾道市立中央図書館蔵書の調査　堀川・住吉・一戸・高橋・矢島

7　飯沼山円福寺蔵書調査　全員

8　カリフォルニア大学バークレー校東アジア図書館蔵書調査　佐々木・住吉

Ⅳ　旧蔵書の復元研究

1　紅葉山文庫の復元研究　全員

2　周防国清寺旧蔵書の調査研究　住吉

3　大名家旧蔵書の総合的研究　佐々木

五　書物文化史の研究

1　日本古典籍の形態学的研究　佐々木

2　近世入木道の研究　一戸

3　文献学史の研究　住吉

○研究助成（文庫員が代表者を務めるもののみ）

「陽明文庫所蔵漢籍・準漢籍の総合的調査研究（一）」

本塾学事振興資金　百万円　堀川・住吉・高橋・矢島

「今関天彭旧蔵書の修復と整理研究（二）」

本塾松永記念文化財研究基金　七十七万四千円　住吉・堀川・矢島

「在米日本漢籍の蔵書学―今関天彭蒐集書を事例として―」
日本学術振興会科学研究費補助金（国際共同研究加速基金・国際共同研究強化Ｂ）　三百七十五万円（直接経費、以下同）
住吉・堀川・矢島
「江戸幕府紅葉山文庫の再構と発信―宮内庁書陵部収蔵漢籍のデジタル化に基づく古典学―」同（基盤研究Ａ）
一千六十五万円　住吉（分担者文庫員全員）
「近世学芸史上における復古的潮流の研究」同（基盤研究Ｃ）
一〇四万円　一戸
「称名寺聖教を中心とした東国寺院における唱導資料と説話に関する研究」同（基盤研究Ｃ）
四十万七千九二円（昨年度からの繰り越し延長分）高橋
「称名寺の唱導資料を中心とした寺院聖教の調査・研究」同（基盤研究Ｂ）　二二〇万円　高橋
「狩野文庫本『毛詩草木鳥獣虫魚疏』における書入れの翻刻と研究」同（若手研究）　七十万円　矢島
「能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究」（共同利用・共同研究拠点「能楽の国際・学際的研究拠点」法政大学能楽研究所二〇二〇年度共同研究）　三五万円　高橋
○センチュリー文化財団赤尾記念基金研究補助
「近世における源氏物語享受について」　三十万円
松原志伸（女子高等学校教諭）
「中世末期～近世前期の地方武家文芸の研究―連歌・和漢聯句を中心に」　三十万円　川崎美穏（大学院後期博士課程）
○文庫員・研究嘱託の主な研究成果
佐々木孝浩
『源氏物語』本文研究の蹉跌―「若紫」帖発見報道をめぐって―（『日本文学』第六九巻第七号・二〇二〇年七月）
巻子装の勅撰集―続千載和歌集を中心に―（浅田徹他編『和歌史の中世から近世へ』Ａ５判六四二頁・花鳥社・二〇二〇年十一月）
「大島本源氏物語」の再検討：新発見の定家監督書写本「若紫」帖との比較を中心に（『斯道文庫論集』第五十五輯・二〇二一年二月）
本と〈作者〉―作品の格と内題との関係（『〈作者〉とは何か 継承・占有・共同性』Ａ５判五一二頁・岩波書店・二〇二一年三月）
堀川貴司
【貴重書紹介】駿河版『大蔵一覧集』―日本初の金属活字出版物―（『MediaNet』第二七号・二〇二〇年一〇月）
脇坂安元旧蔵書について―『〈公任家集〉』を例に―（『和歌史の中世から近世へ』花鳥社）

『江湖風月集略註』研究（十三）〔注釈〕（飯塚大展・佐藤俊晃・比留間健一との共著）（「駒澤大学禅研究所年報」第三二号・二〇二〇年十二月）

慶應義塾所在近世文人書簡筆跡類総覧（四）：三田メディアセンター貴重書室（その三）（「斯道文庫論集」第五十五輯）

新収資料一覧（その四）（編、「斯道文庫論集」第五十五輯）

詩歌と絵画・画賛の文化―日本中世禅林を中心に（ハルオ・シラネ編『東アジアの自然観　東アジアの環境と風俗』東アジア文化講座四・文学通信・二〇二一年三月）

A Japanese Commentary History of Jianghu fengyue ji : From Medieval to Early-Modern（ジェフリー・ノット訳）（Studies in Japanese Literature and Culture Vol.4 二〇二一年三月）

住吉朋彦

論語疏（解題）（『＜古代中世＞日本人の読書』慶應義塾図書館・二〇二〇年十月）

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 旧鈔『論語義疏』伝本解題（「斯道文庫論集」第五十五輯）

佚存書の発生―日中文献学の交流―（『漢字を使った文化はどう広がっていたのか 東アジアの漢字漢文文化圏』文学通信・二〇二一年三月）

一戸渉

禁裏の文化と和学（事典項目）（『日本思想史事典』丸善出版・二〇二〇年四月）

「炎上」する江戸の言説空間―宣長・秋成と藤貞幹の「偽書」（「ユリイカ」第五二巻第十五号・二〇二〇年十二月）

文庫開設六十年記念フォーラム「書誌学のこれまでとこれから」開催記（「斯道文庫論集」第五十五輯）

稲荷社祀官大西親盛の和歌 続々：京都学・歴彩館蔵『〔歌日記〕』翻印と解題（2）（「斯道文庫論集」第五十五輯）

橋本経亮旧蔵 香果遺珍目録（B5判二〇七頁・慶應義塾大学三田メディアセンター・二〇二一年三月）

高橋悠介

千字文説草とその特色―亡息・亡息女供養の説草を中心に（「仏教文学」四五・二〇二〇年四月）

真言立川流・能の思想（事典項目）（『日本思想史事典』丸善出版）

身体生成をめぐる思想と中世仏教―五蔵観・魂魄・胎内説（『日本宗教史3 宗教の融合と分離・衝突』吉川弘文館・二〇二〇年七月）

貞慶をめぐる説話と律院―「異砂記」・狛行光春日霊験譚（「説話文学研究」五五・二〇二〇年九月）

観世清和監修／松岡心平・横山太郎・高橋悠介編『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』（A5判七六八頁・檜書店・二〇二一

年一月）

享保期の江戸城西丸への謡本献上と謡曲改訂（二）（「斯道文庫論集」第五十五輯）

観世文庫の文献資料の形成と蔵書管理の一端（「能と狂言」一七、二〇二一年三月）

矢島明希子

（共訳）漢帝国の遺産：道教の勃興（東方学術翻訳叢書）（姜生著、三浦國雄・田訪監訳、A5判・六九八頁・東方書店・二〇二〇年一〇月）

日本における『毛詩草木鳥獣蟲魚疏』の受容：国書中の引用に関する調査（「斯道文庫論集」第五十五輯）

津田真弓

フィンランド国立図書館蔵合巻『仮名手本忠臣蔵』調査報告（慶應義塾大学日吉紀要「人文科学」第三十五号・二〇二〇年六月）

疱瘡絵本『〈疱瘡請合〉軽口噺』考（「太平余興」第七集・二〇二〇年十一月）

みちのくが未知の世界に出会う―「文化露寇」の衝撃を考える（全国大学国語国文学会「文学・語学」第二二九号・二〇二一年一月）

「花散里」から考える江戸の源氏受容―『偐紫田舎源氏』の成功（久保朝孝編『源氏物語を開く―専門を異にする国文学研究者による論考54編』武蔵野書院・二〇二一年三月）

小川剛生

歩む良基、走る師良―摂関たちの身体（「本郷」第一四七号・吉川弘文館・二〇二〇年五月）

武士と和歌―題詠をめぐって（「短歌研究」第七十七巻第七号・二〇二〇年七月）

徒然草をよみなおす（新書版一九一頁・筑摩書房・二〇二〇年十月）

西行上人集の伝来（浅田徹他編『和歌史の中世から近世へ』花鳥社）

《学界時評・中世》二〇一九年度（「アナホリッシュ國文学」第九号・響文社・二〇二〇年十一月）

積翠寺蔵和漢聯句「心もて」注釈―天文十五年の武田晴信・三条西実澄・妙心寺派禅僧（「三田國文」第六十五号・二〇二〇年十二月）

尚侍藤原頊子（万秋門院）と後宇多院（『日本歴史』編集委員会編『恋する日本史』吉川弘文館・二〇二一年二月）

合山林太郎

江戸漢詩の名所詠と永井荷風（小林ふみ子・中丸宣明編『好古趣味の歴史―江戸東京からたどる』法政大学江戸東京研究センター・文学通信・二〇二〇年六月）

「和漢」型の漢詩詞華集の流行と近代日本における古典の教養―結城蓍堂『和漢名詩鈔』と簡野道明『和漢名詩類選評釈』（荒木浩編『古典の未来学―Projecting Classicism』文学通信・二〇二〇年十月）

狂詩（金文京編『漢字を使った文化はどう広がっていたのか 東アジアの漢字漢文文化圏』東アジア文化講座二・文学通信・二〇二一年三月）

王安石「山櫻」詩と近世日本におけるサクラについての議論（東英寿編『唐宋八大家の探求』花書院・二〇二一年三月）　斎藤慎一郎

第32回慶應義塾図書館貴重書展示会 古代中世 日本人の読書（佐藤道生監修・佐藤道生・山田尚子との共著・慶應義塾図書館・二〇二〇年十月）

師顧堂影印金澤文庫本《春秋經傳集解》解題（喬秀岩・葉純芳訳・「版本目録学研究」第十二輯・二〇二〇年十二月）　川上一

室町時代公武月次歌会の諸相―応仁・文明の乱を軸に―（「藝文研究」一一八号・二〇二〇年六月）

正徹晩年の「招月庵歌壇」の実態―天理大学附属天理図書館蔵『招月庵詠歌・四十二番歌合』をめぐって―（「中世文学」六五号・二〇二〇年六月）

足利義政文芸資料考―家集および連歌資料について―（「三田國文」六十五号・二〇二〇年十二月）

『物語二百番歌合』『源氏物語歌合』所収現存物語歌 対照表（「三田國文」六五号・二〇二〇年一二月）※高橋諒氏との共編

文明十三年着到千首について―本文の形成及び「続歌」の機能―（「国語国文」九十巻一号・二〇二一年一月）

Ⅳ 調査出張

二〇二〇年十二月六日―十一日　大分県中津市歴史博物館・新中津市学校　一戸渉

十二月十八日―十九日　愛知県西尾市岩瀬文庫　堀川貴司

二〇二一年一月十二日―十五日　岡山県井原市興譲館高等学校　堀川

三月七日―十一日　岡山県井原市興譲館高等学校　堀川

三月九日―十日　愛知県名古屋市蓬左文庫　矢島明希子

三月十六―十九日　山口県宇部市立図書館新井文庫　堀川

三月二十日―二十三日　京都市立命館大学衣笠キャンパス学而館　同京都府立京都学・歴彩館　同佛教大学宗教文化ミュージアム　同図書館　住吉朋彦

三月二十三日―二十八日　新中津市学校　一戸

その他　観世文庫　宮内庁書陵部　国立公文書館　国文学研究資料館　国立国会図書館　駒澤大学図書館　東京都立中央図

書館　早稲田大学図書館

Ⅴ　斯道文庫講座・フューチャーラーン

○斯道文庫書誌学講座（大学院）

Ⅰ（春学期）Ⅱ（秋学期）（国文学）　佐々木孝浩

写本書誌学入門Ⅰ・Ⅱ

Ⅲ（春学期）Ⅳ（秋学期）（漢籍）　住吉朋彦

東洋書誌学研究法（序説）（実習）

Ⅴ（春学期）Ⅵ（秋学期）（基礎）　堀川貴司

日本の版本

○斯道文庫設置講座（学部）

書物と文化Ⅰ（春学期）Ⅱ（秋学期）　一戸渉

書誌学の方法と実践

書物文化史研究Ⅰ（春学期）　高橋悠介

寺院伝来の書物を学ぶ

書物文化史研究Ⅱ（秋学期）　矢島明希子

漢籍の歴史とその調査方法

○フューチャーラーン

慶應義塾大学では、英国のオンライン教育配信事業体「フューチャーラーン」に参加し、その最初の番組として「Japanese Culture Through Rare Books」（全三週、主任講師佐々木孝浩、講師一戸渉）を二〇一六年度より配信している。本年度は新型コロナウィルスの感染拡大の影響で、学習機会確保のために、二〇一九年十月より配信している第七回を二〇二〇年度を通じて配信を継続した。またその日本語版である「古書から読み解く日本の文化：和本の世界」の第一回を二〇二〇年六月より配信した。「SinoJapanese Interactions Through Rare Books」（全四週、主任講師堀川貴司、講師住吉朋彦・髙橋智）を二〇一七年度より配信しているが、その第五回を二〇二〇年八月より配信開始し、二〇二〇年度中は配信を継続した。またその日本語版「古書から読み解く日本の文化：漢籍の受容」の第一回を二〇二〇年七月より配信した。二〇一八年度より配信している「The Art of Washi Paper in Japanese Rare Books」（全二週、主任講師佐々木、講師白戸満喜子）の第四回を二〇二一年三月より配信した。またその日本語版「古書から読み解く日本の文化：和本を彩る和紙の世界」を二〇二一年一月より配信した。

Ⅵ　講演会・シンポジウム

○斯道文庫講演会（第三十三回）

文庫開設六十年記念フォーラム「書誌学のこれまでとこれから」を二〇二〇年十一月二十八日（土）にYouTubeLiveを利用してオンラインで開催した。当日のプログラムは以下の通り。

趣旨説明　佐々木孝浩

基調講演　資料発掘と斯道文庫

講師　慶應義塾大学名誉教授　佐藤道生氏

文庫員研究報告

斯道文庫所蔵文人筆跡類について　堀川貴司

密教聖教の略字表記と東密西院流ー僧名表記を中心に　高橋悠介

斯道文庫所蔵影宋本爾雅について　矢島明希子

慶應義塾図書館蔵『論語疏』巻六の文献価値　住吉朋彦・種村和史・斎藤慎一郎

共同討議・質疑応答

Ⅶ　展　示　会

○センチュリー文化財団寄託品展覧会

「文人の書」（共催：慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館）

会場　慶應義塾図書館展示室、慶應義塾大学アート・スペース

期間　二〇二〇年十一月九日―十二月十一日

Ⅷ　図　書

二〇二〇年度図書増加冊数　五六九冊

内寄贈書　九三冊

二〇二〇年度逐次刊行物増加数　九種

二〇二〇年度三月末日現在累計蔵書数　一二八、一〇五冊　約三六、七〇〇冊

他に寄託図書

寄託美術品　センチュリー文化財団コレクション

（文庫約一万五千冊を含む）　一、七四〇点

御厚情をお寄せ頂いた主な寄贈者（逐次刊行物を除く）の方々の芳名を左に録し深甚の謝意を表する（敬称略・五十音順）。

朝日町歴史博物館　阿部脩二　金沢市立玉川図書館近世史料館　九州国立博物館　京都国立博物館　京都女子大学　京都大学人文科学研究所　慶應義塾図書館　慶應義塾ミュージアム・コモンズ　国外所在文化財財団　国文学研究資料館　佐藤道生　史跡足利学校事務所　実践女子大学文芸資料研究所　昭和女子大学光葉博物館　神宮文庫　高木浩明　滝澤みか　武井紀子　武田科学振興財団　杏雨書屋　舘野文昭　東京大学史料編纂所　東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター　名古屋大学文学研究科附属人類文化遺産テクスト学研究センター　西尾市岩瀬文庫　二松学舎大学　林進　仏教美術研究上野記念財団　古田龍啓　平凡社　堀部正円　松永知海　宮川真弥　妙法院門跡　八尾隆生　柳川古文書館　山本啓介　龍谷学会　Kathleen Mylen-Coulombe

Ⅸ　文献複写

本年度も公私の図書館・文庫所蔵本についてマイクロフィルム等による副本の作成を行った。

二〇二〇年度増加数
百呎Ｄ・Ｄフィルム　二〇リール
（劣化したネガフィルムの更新として）
電子媒体（ＤＶＤ―Ｒ）　五枚
二〇二〇年度三月末日現在累計
百呎ネガフィルム　二、一六一リール
同　Ｄ・Ｄフィルム　四六五リール
同　ポジフィルム　四、二一五リール
電子媒体（ＤＶＤ―Ｒ）（未登録分含む）　二〇九枚
紙焼写真・電子複写　七、八六四冊
同（未装訂）　約一、〇〇〇枚

以上の複写は本文庫の研究事業計画に賛意を表された所蔵者各位の御厚意によるものである。芳名を左に録し深甚の謝意を表する。

建仁寺両足院殿　陽明文庫殿　銚子市円福寺殿

Ⅹ　見　学　者

本年度の斯道文庫見学者はなかった。

Ⅺ　国文学研究資料館歴史的典籍ＮＷ事業への参画

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館が実施する日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（略称、歴史的典籍ＮＷ事業）におけるデータベース構築に関して、本年度十一月二十四日に覚書を締結し、当該事業に参画することとした。それに伴い、本年度は『言海〔校正刷〕』をはじめ計二点の資料の撮影データを先方へ提供した。

Ⅻ　刊　行　事　業

一、斯道文庫論集　第五十五輯　Ａ５判四二七頁　二〇二一年二月二十八日発行

なお、これまで刊行したすべての論集は、慶應義塾大学学術情報リポジトリー（KOARA）http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/ において閲覧可能になっている。

既刊図書一覧

斯道文庫書誌叢刊

江戸時代書林出版書籍目録集成四巻　二千円
室町時代物語類現存本簡明目録
○コルディエ文庫分類目録　二千円
大阪府立岸和田高等学校和漢書目録
○慶應義塾大学附属研究所斯道文庫収蔵 マイクロフィルム等目録初輯　七千円
○慶應義塾大学附属研究所斯道文庫貴重書蒐選　図録解題　八千円
◇古今集注釈書伝本書目　三万円
○慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 浜野文庫目録―附善本略解題　二万円
○慶應義塾大学附属研究所斯道文庫撮影　建仁寺両足院蔵書マイクロフィルム目

録初編　二千円

斯道文庫古典叢刊

○四部合戦状平家物語　二万円

○百二十句本平家物語　一万五千円

○大かうさまくんきのうち　（品切）

○諸本対照十七条憲法訓読並校異　（品切）

○未刊影印橘守部著作集十巻　各巻七千～一万円（一部品切）

○慶應義塾図書館蔵　小津家古筆切集影　三千六百八十九円

◇中世聖徳太子伝集成五巻　九万八千円

その他

○阿部隆一遺稿集四巻　各巻九千～二万円（一部品切）

○斯道文庫三十年略史　三千五百円

◇古今集注釈書影印叢刊第一期八巻　八万円

◇図説　書誌学―古典籍を学ぶ　三千五百円

（○印は汲古書院　◇印は勉誠出版より販売　価格は税別）